



今月の投映

今夜の星空+テーマ番組「プラネタリウムを作った男」

この5月はプラネタリウム100周年グランドフィナーレ。1923年、世界初の光学式プラネタリウムが作られました。それよりもっと前に、まさに“プラネタリウム”と呼ぶにふさわしい機械を作り上げた男がいた…！

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「パンドラのはこ」

投映日

● 一般向け ★ こども向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

	11:00~	13:30~	15:30~	16:30~
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※予定変更が生じる場合があります。最新情報はホームページ、X(旧ツイッター)等をご確認ください(右下QRコード)。

※3日(土)~6日(火・振)はゴールデンウィーク特別投映『チャレンジ! 星空クイズ!』です。期間中、5月3日(土)11:00~はこども投映です。

※25日(日)はフレンドシップデー開催のため一般投映はありません。

観覧料

大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円

団体(20名以上) 大人250円、子ども80円 ※久喜総合文化会館メンバーズクラブ「フレンズ」会員の方はご本人様のみ無料

障がい者個人および介護者 1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)

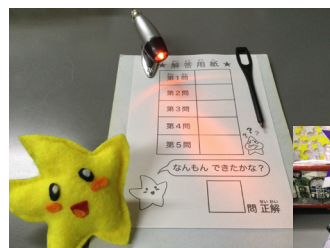
イベントの予定

ゴールデンウィーク特別投映 『チャレンジ! 星空クイズ!』

4月29日(火・祝)、5月3日(土)~6日(火・振) ※4/30(水)、5/1(木)は16:30~

①11:00~ ②13:30~ ③15:30~ ※5/3(土)11:00~はこども投映

■星を見ながら出題されるクイズにチャレンジ! 解答用紙に答えを書き込もう! キミは何問できるかな? 参加したお子さんにプレゼントもあるよ!



▲解答用紙に答えを書こう!

参加すると星座えんぴつもらえるよ!



▲紙工作このぼりもプレゼント! その場で作れる工作コーナーもあるよ

6月の投映内容(予定)

今夜の星空+テーマ番組

「さすらいのデーマーテール」

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「たなばたのおはなし」

15日(日) 13:30、15:30

かいけつ! ぎもん・てんもん
「太陽と月のちがい」(小6)

お知らせ

内容変更となる場合があります。最新情報はホームページで→→→

アカウントをお持ちの方は『X(旧ツイッター)』もご覧ください!

✕ @KUKI_bunka



久喜総合文化会館

〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140
TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

5月の星空

1日 22時ごろ
15日 21時ごろ
30日 20時ごろ



星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

- 火星
- ★ 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星以下

惑星

西火星…1等級。かに座からしし座へ順行中。地球から離れ次第に暗くなる。
※木星…初旬は夕方西の空に見えるが次第に低くなり下旬には観察しにくい。

主な1等星

北東デネブ[はくちょう座]…夏の星。まだ低く見つけにくい。
北東ベガ[こと座]…低いが見るく目立つ。たなばたの“おりひめぼし”。
南東アンタレス[さそり座]…赤っぽい色の星。まだ昇りたて。
南スピカ[おとめ座]…真珠星ともよばれる白い星。西にからす座がある。
天頂アルクトゥールス[うしかい座]…とても明るく目立つオレンジ色の星。
西レグルス[しし座]…21個ある1等星の中で最も暗いが、街中でも見える。

日の出

5月1日	4:48
15日	4:35
30日	4:26

日の入

5月1日	18:29
15日	18:41
30日	18:52

“惑星棚”こそプラネタリウム、ダナ?

アイゼ・アイズンガーのプラネタリウムは、現存する最古の作動する惑星(英語でプラネット)運行儀と言われますが、そのルーツは紀元前まで遡ります。記録上は紀元前3世紀頃から似た仕組みの太陽系儀が存在したようです。

現存するものでは、1901年にギリシアのアンティキティラ島沖の沈没船から発見された“アンティキティラ島の機械”が、およそ紀元前3世紀～紀元前1世紀に作られたと考えられています。分析が進むにつれ、歯車仕掛けにより太陽や月、当時知られていた5惑星の位置を計算・再現できること、また日食などの予報もできることなどがわかってきました。紀元前の機械とは思えぬ驚くべきハイスペックさです。

実は久喜プラネタリウムの投影機にもこれと似たような仕組みが使われています。「惑星棚」と呼ばれる箇所に設置された、太陽や月、惑星を投影する装置は歯車の集合体。レンズと電球からなる投影装置を歯車で動かし、正確な天体の位置を再現しており、根本的な仕組みは太陽系儀に近いものです。来館時ぜひこの惑星棚にも注目し、紀元前から脈々と受け継がれる太陽系儀の遺伝子を感じてみてください。



アンティキティラ島の機械



久喜プラネタリウム投影機の惑星棚

こよみ

5月3日	つき かせい せつぎん よい 月と火星が接近(宵の西の空) 憲法記念日
4日	● 上弦 月と火星が接近(宵の西の空) みどりの日
5日	こどもの日 立夏
6日	振りかえきゅうじつ 振替休日
6~7日	みずがめ座 η 流星群(6・7日の未明が見頃)
7日	どせい わ けいしつ たいよう 土星の環の消失(環が太陽に対し真横になる 土星は明け方東のごく低空)
13日	● 満月
20日	● 下弦
21日	● 小満
27日	● 新月